

水、熱、食料、情報

南海トラフに万全の体制

中田商事



中田社長

大震災後、BCP対策を積極的に推し進めており、ライフラインが寸断されても「自

近い将来発生するとされる南海トラフ地震に備え、自然災害などに備え、自然災害などに緊急事態発生時に事業の継続を可能にするBCP対策が求められている。(株)中田商事(中田純一社長、三重県伊賀市)では東日本大震災後、BCP対策を積極的に推し進めており、ライフラインが寸断されても「自

活」できる体制をとっている。

営業所敷地内には湧き水の水源が2か所あり、ここで飲料水を確認。食品運搬のために仕入れた大型冷蔵庫には食料品を備蓄している。

純一社長、三重県伊賀市

トピックス



営業所 天井部分に太陽光パネルが敷設される

から薪を仕入れて販売し、また近所の廃木材を回収するなど常に豊富な薪が会社にある。また、本社営業所の屋根には太陽光パネルが近々設置される予定で、この発電だけで本



営業所に備蓄されている薪

社で使う電力をまかなうことができる。林業をする知り合いが近々設置される予定で、この発電だけで本社で使う電力をまかなうことができる。また、本社営業所の屋根には太陽光パネルが近々設置される予定で、この発電だけで本社で使う電力をまかなうことができる。また、本社営業所の屋根には太陽光パネルが近々設置される予定で、この発電だけで本社で使う電力をまかなうことができる。



中田商事の敷地内から出る湧き水